

江戸人形浄瑠璃を楽しむ会

in 青木繁「海の幸」記念館・小谷家住宅

～次世代に残したい<ちば文化資産>～



左から、お君（袖萩の娘）・袖萩・謙仗（父上）・腰元2人・浜夕（母上）

演目

寿式三番叟

奥州安達ヶ原 袖萩祭文の段

江戸人形浄瑠璃保存会

幼い皇子・環の宮が何者かに誘拐され、守役の謙仗は窮地にたたされている。袖萩は父（謙仗）の噂を聞いて環の宮を訪れるが、そこには開かずの門口。袖萩は浪人と駆け落ちし勤当され、今は夫と別れあまりの不幸で眼を潰し落ちぶれ果てている。父と母（浜夕）は門の外にいる娘の姿を見てびっくり、戸をぴっしやり。対面することも会話することも許されない袖萩は、三味線を弾きながら、祭文にことよせて思いのたけを語るのであった。

日時 平成30年11月23日（金祝）

開演 第一部 10:00 / 第二部 13:30

鑑賞料 1,000 円 定員各回 40 名【要予約】

会場 青木繁「海の幸」記念館・小谷家住宅
館山市布良 1256 （館山市指定有形文化財）

主催：青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

事務局：NPO法人安房文化遺産フォーラム

予約：090-9342-3638（関） メール awabunka@awa.or.jp

【交通案内】JR 館山駅から、タクシー約 20 分 または

JR バス「安房自然村」下車（安房白浜行 25 分）徒歩 3 分

自家用車：館山自動車道・富浦 IC より国道 410 号で約 30 分

駐車は、布良崎神社境内またはバス停周辺の空地に可

* * *

江戸人形浄瑠璃保存会（中込功代表）では、各地に残る人形の調査・研究を重ね、阿波・淡路の特徴を受け継ぎながら、仰度を少し改善し、新たな演技を生み出しました。人形は小ぶりの細身で、しなやかな演技をします。